



令和元年度 錦田小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

10月4日（金）に開催された「令和元年度錦田小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日のご発言やご意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

なお、アンケートに記載してありました『地域支え合い会議』のご案内につきましては、地域包括ケア推進課より送付いたします。

■開催概要■

日時	令和元年10月4日（金）19:00～20:45		
会場	錦田公民館		
参加団体	御門自治会 玉沢町内会 桜ヶ丘町内会 谷田城の内自治会 東富士見自治会 並木自治会 緑ヶ丘自治会	錦田幼稚園 錦田幼稚園 PTA 錦田小学校 錦田小学校 PTA 錦田中学校 学校支援地域本部 保健委員会	民生委員・児童委員 三島市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 出席者：23名

■次第■

19:00

開会・市長あいさつ

1 「コミュニティ連絡会について」

2 「各団体からの情報発信」

3 「現在の状況と事例発表」

4 「ワークショップ」

5 「アンケート記入」

20:45

市長あいさつ・閉会



「みんなが繋がるまちづくり～笑顔あふれる地域の未来のために～」のまとめ

今回の連絡会の全体のテーマである「みんなが繋がるまちづくり～笑顔あふれる地域の未来のために～」を元に「三世代交流・居場所の活用」及び「見守りのある地域づくりに向けて」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、テーブルごとに意見交換をしました。

	三世代交流・居場所の活用
	見守りのある地域づくりに向けて



■グループ別のまとめ

1グループ

テーマ：見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

- ・少子高齢化が身に染みている。

■理想の目指す地域

- ・みんなが顔見知りになる。
- ・坂が多いので行き来しやすい環境づくりを。

■具体的なアイデア

- ・学校や地域でイベントを開催する。
- ・高齢者を講師として招き、子どもたちにいろいろなことを教える。
- ・お惣菜を売ってくれるような移動販売をする。



2グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

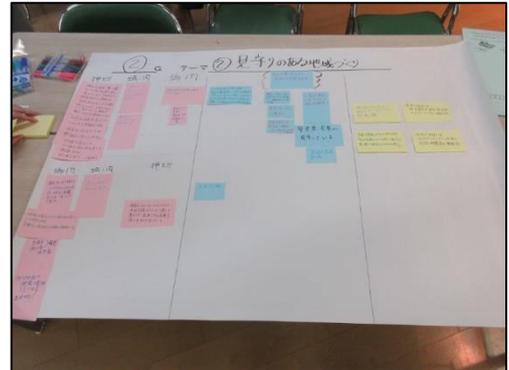
- ・主に押切、御門、城の内にお住まいの方が多かった。
- ・御門では交通安全の見守りやあいさつ運動を実施し、城の内ではさんすい（サロン）が立ち上がった。

■理想の目指す地域

- ・警察や交番が近くにあり、安心して暮らすことができる。

■具体的なアイデア

- ・趣味が合う人たちと仲良く過ごす意識啓発をする。
- ・近所の人が見守りなどしてソフトに対応する。
- ・交通安全に対して、交通渋滞緩和のために市の協力を得ながら、安心安全な道路づくりをする。



3グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

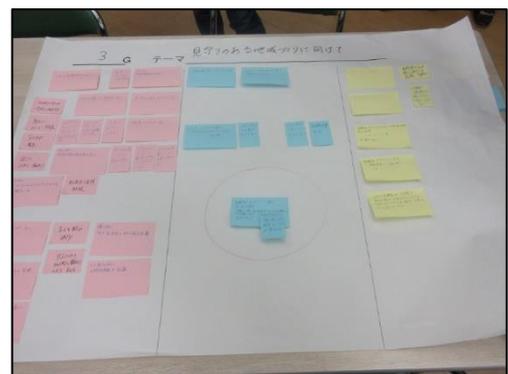
- ・いろいろな立場の方から地域に対してすばらしい意見が出た。
- ・元気な高齢者やあいさつができる子どもが多い。
- ・自然が豊かで野菜がおいしい。
- ・防災訓練に子どもたちが参加してくれる。
- ・貧困や自治会加入、子ども会の低迷が課題。

■理想の目指す地域

- ・最終的に高齢者と子どもが安心して暮らすことができる地域を目指す。

■具体的なアイデア

- ・高齢者と子どもと一緒に給食を食べたり、昔の遊びを教えるなどする。



4グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

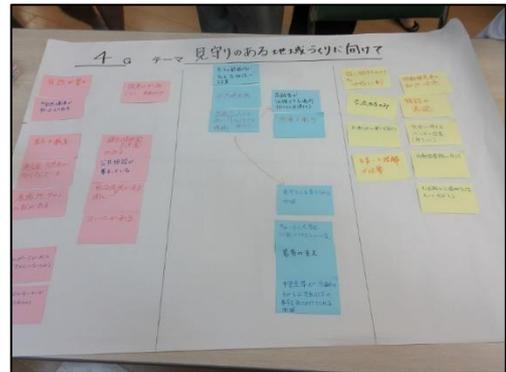
- 公共施設が集まっている。
- 子ども会が消滅している。

■理想の目指す地域

- 徒歩圏内にいろいろな施設を設置することで、繋がりができる。

■具体的なアイデア

- ハード面では移動販売車を運行し、その場所へ買い物客同士で送迎をする。
- ソフト面では人が集まる機会を作り、交流を生ませる。



5グループ

テーマ:三世代交流・居場所の活用

■地域の情報を共有

- 自治会や町内会を上手に活用できていない。どのように活発化できるか考える必要がある。
- 高齢者は増えているが、老人会には加入してもらえない。

■理想の目指す地域

- 三島にUターンする人たちを増やしたい。
- 在宅で仕事ができる環境づくりをする。
- 若い人たちに帰ってきてもらいたい。

■具体的なアイデア

- 市や行政に知恵をもらい、IT産業を活用する。
- スマホで高齢者と子どもが繋がるネットワークづくりをする。
- 子どもが高齢者に声かけできるようにするために、橋渡し役となる中間世代が働くことができる場所の提供を市や行政にしてもらいたい。

